

城北図書館 連携企画講座 「アフリカの楽器を知ろう、遊ぼう、楽しもう！」



城北図書館「音楽のまち講座」楽器博物館連携企画
「アフリカの楽器を知ろう、遊ぼう、楽しもう！」
日 時：平成30年12月1日（土）10:30～12:00
講 師：ロビン・ロイド 参加者：28人

12月1日（土）に城北図書館との連携企画講座を行いました。「アフリカの楽器を知ろう、遊ぼう、楽しもう！」と題して、講師にロビン・ロイドさんをお迎えしました。

はじめに、絵本「アフリカの音」の読み聞かせがありました。「アフリカの音」は色彩鮮やかに、アフリカの人々の生き生きとした表情と、生命の連なりや大地の恵みへの感謝がエネルギーに描かれている本です。今回は特別に、ロイドさんの即興演奏と共に楽しみました。アフリカの情景がキラキラと目の前に広がるようでした。

その後はロイドさんの演奏やお話で、アフリカの音楽や文化に触れたり、全員が手に持てる大きさの鈴やシェイカーなどを使って楽譜のない音楽を演奏しました。子どもから大人まで、学校での音楽の授業などとはまた違った発見や体験ができたのではないのでしょうか。

移動楽器博物館「わくわく楽器ランド」

この事業は平成12年度に開始されたもので、平成30年度で18年目、開催校は累計132校、参加児童数は59,547人になります。移動楽器博物館は、浜松市立の小学校が対象で、応募・抽選を経て開催校が決定します。今年度は、蒲、平山、上島、浜松中部学園、南の星の計5校でした。

1クラスにつき1時間の授業時間を使い、楽器を通してその楽器が使われる国や地域の文化、民族、気候、楽器の素材や仕組みなどを考えます。授業時間内や昼休みには、児童が自由に楽器を体験したり、博物館職員が海外のフィールドワークで撮影した映像資料などを見る時間もあります。これからも、五感を使って世界を覗く一歩になれるような授業を作っていきます。



博物館日誌

- 11/18 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤) 参加者：12人
- 11/18 (日) ミュージアムサロン「中央アジアの音楽と楽器」14:00～15:00 天空ホール
出演：中央アジア各国からの音楽家(約40人) 入場者：130人
- 11/19 (月)～22 (木) 移動楽器博物館 浜松市立南の星小学校
- 11/23 (金) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう！」
10:30、11:30 地下展示室 指導：ボランティア 参加者：24人
- 11/25 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤)、14:00 (アフリカ)
参加者：52人
- 11/28 (水) 天皇皇后両陛下ご来館
- 12/1 (土) 城北図書館連携企画講座「アフリカの楽器を知ろう、遊ぼう、楽しもう！」10:30 城北図書館講座室 講師：ロビン・ロイド
受講者：28人
- 12/2 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤) 参加者：22人
- 12/2 (日) 音楽の広場「アンサンブル・ミュージック女性合唱団」
13:30、15:00 (各30分) 出演：アンサンブル・ミュージック女性合唱団
仁科岡彦(指揮) 稲垣英子(ピアノ)
入場者：132人
- 12/8 (土) 特別展関連講座「音楽を超えて～文部省唱歌のめざしたもの～」
18:30 天空ホール 講師：澤崎真彦(東京学芸大学名誉教授)
演奏：コール萩 指揮：徳田陽子 受講者：88人
- 12/9 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (鍵盤) 参加者：24人
- 12/9 (日) 音楽の広場「浜松ライオンネット児童合唱団クリスマスコンサート」
14:00、15:00 (各30分) 出演：浜松ライオンネット児童合唱団
初木真子(指揮) 稲垣英子(ピアノ) 当館職員
入場者：95人
- 12/16 (日) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう！」
10:30、11:30 地下展示室 指導：ボランティア 参加者：14人
- 12/16 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)、14:00 (鍵盤)
参加者：57人
- 12/23 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (ヨーロッパ) 参加者：34人
- 12/23 (日) ミュージアムサロン「クリスマスコンサート」14:00、15:30(各30分)
出演：小池真梨(フルート) 中山優希(ファゴット)
加藤雄樹(リコーション) 中村節(作曲、ピアノ)
野口夏菜(ピアノ、鍵盤ハーモニカ/当館職員) 入場者：197人

- 1/6 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (アジア)、14:00 (鍵盤) 参加者：39人
- 1/13 (日) 展示室ガイドツアー 11:00 (ヨーロッパ)、14:00 (アフリカ)
参加者：45人
- 1/14 (月) 楽器づくりワークショップ「とり笛をつくろう！」10:30、11:30
地下展示室 指導：ボランティア 参加者：16人

♪ギャラリートーク
(職員が毎日数回、展示品をひとつ選んで10分間ほど解説)
11月 計103回 参加者：1457人
12月 計96回 参加者：1086人

これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります
- ギャラリートーク 毎日数回 展示品の解説を行います
- ミニコンサート 14:00、15:30 (各30分) 天空ホール 不定期開催
- レクチャーコンサート
- 1/23 (水) 「田園のゆしみ～18世紀フランス宮廷のバグパイプ“ミュゼット”」
19:00 天空ホール 出演：上尾直毅(ミュゼット)ほか
- 3/17 (日) 「涙のきらめき～17世紀ザルツブルク・祈りの宮廷音楽～」
18:15 天空ホール 出演：アンドレア・インギッシャーノ
(コルネット)、杉村智大(ナチュラルトランペット)、
宮下宣子(サクバット)、古楽金管アンサンブル「アンジェリコ」ほか
- 講座
- 3/2 (土) 講座・楽器の中の聖と俗(全2回)
第2回「琉球王国の新春 朝拝御規式(ちょうはいおきしき)」
13:30～15:00 研修交流センター 講師：西岡信雄

浜松市楽器博物館だより

平成31年1月17日発行 No.126 編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129 URL <http://www.gakkihaku.jp/>



浜松市

楽器博物館

No.126
2019.1.17 だより

天皇皇后両陛下を お迎えしました



平成30年11月28日(水)午後、天皇皇后両陛下を楽器博物館にお迎えしました。27日から1泊2日での静岡県西部への私のご旅行で、最後の訪問地として楽器博物館が選ばれました。このご旅行は当初7月に行われる予定でしたが、西日本豪雨災害により中止となり、今回改めて実現されたものです。

午前中は浜松市外国人学習支援センターを視察されました。アクティビティ浜松に移動され、ご昼食の後、午後1時20分頃から当館をご見学されました。館長の嶋による案内で館内に入られると、皇后さまは感嘆の声をあげられました。

1階アジア展示室では、博物館職員9人がインドネシアの伝統楽器ガムランの歓迎演奏を披露しました。演奏後両陛下は職員に「楽器は何でできているのですか」「インドネシアで演奏の勉強をされたのですか」などとお声をかけられました。陛下は、モンゴルの馬頭琴やその仲間の弦楽器、チベットの巻貝トランペットなどを熱心に観察されました。とりわけ貝殻には両陛下ともたいそうご関心を示されました。魚類学者でもある陛下は、海洋生物に深いご関心を持っておられるからでしょう。ベトナムの一弦のお琴ダン・バウの前では、皇后さまが「ベトナムに行った時、これを見たわね」と、楽器との再会を懐かしむように陛下に

語りかけられました。

地下展示室でニューギニアの貝殻や木の実でできたガラガラをご覧になると「この貝は日本にもありますね、なんて言ったかしら」と皇后さま。ヨーロッパの弦楽器コーナーでは「リュートとマンドリンの違いは何ですか」と陛下。17世紀から19世紀の西洋鍵盤楽器室の入り口では皇后さまが「クラヴィコードはありますか」とお尋ねになりました。以前お聴きになったクラヴィコードの演奏が大変すばらしかったそうです。職員がクラヴィコードでバッハの作品を演奏すると「バッハはよいですね」とおっしゃいました。チェンバロや現存最古のピアノのレプリカ、ベートーヴェンやショパンの時代のピアノの短い演奏を楽しんでいただき、最後は19世紀の、豪華なハープのようなピアノ、ジラフピアノで、皇后さま作詞の「ねむの木の子守歌」をお贈りしました。両陛下は大変感激された様子で、大きな拍手を贈っていただきました。

予定時間の20分間を大きく過ぎて40分間のご見学となりました。音楽をこよなく愛され、チェロを演奏される天皇陛下、ハープとピアノを演奏される皇后陛下は、まだまだご覧になられたい様子でした。浜松市と楽器博物館にとって大変名誉ある、喜ばしい一日となりました。

特別展「教室で出逢った唱歌と童謡」 講演と演奏



12月8日(土)は、東京学芸大学名誉教授の澤崎眞彦先生を講師にお招きし、特別展「教室で出逢った唱歌と童謡～音楽教科書が語る日本の歩み～(平成30年11月15日～平成31年1月6日開催)」の関連イベントとして「音楽を超えて～文部省唱歌のめざしたもの～」と題した講演会を行いました。明治から大正、昭和にかけて、音楽教育の発展や社会状況の変化に伴い次々と生まれていった唱歌の変遷について、当時の教科書をはじめとする貴重な資料をスクリーンに投影しながら、先生の豊富な知識に基づき分かりやすくご紹介いただきました。「ちょうちょう」や「ぶんぶんぶん」といった、日本の曲と思われがちな唱歌のメロディーが実は外国の民謡から採られているなど、よく知る曲の意外なルーツについて先生が説明されると、会場からは驚きの声があがっていました。

また今回は、コーラスグループ「コール萩」の皆さんもお迎えし、澤崎先生が講演の中で挙げられた様々な唱歌を、30曲以上も歌っていただきました。さらに贅沢なことに、実際に当時の教科書に掲載された楽譜に基づいた演奏をしてくださり、楽譜に込められた時代の空気感も味わうことができました。

最後は会場全体で「故郷」を合唱しました。唱歌や童謡のあたたかみも感じられた講演会となりました。

明治150年記念特別展関連講演とコンサート
日 時：平成30年12月8日(土) 18:30
会 場：楽器博物館展示室
講 師：澤崎眞彦(東京学芸大学名誉教授)
演 奏：コール萩 指 揮：徳田陽子
入場者：88人

全国博物館大会に参加・テーマは「博物館からつながる」

11月28日(水)～30日(金)の3日間に開催された、公益財団法人日本博物館協会が主催する第66回全国博物館大会に参加しました。協会の創立90周年の記念大会となった今回は「博物館からつながる」をメインテーマに掲げ、主会場の東京文化会館をはじめ、東京上野地区にある東京都美術館、国立西洋美術館、国立科学博物館、上野動物園、東京国立博物館の協力のもと、例年以上に多岐にわたるテーマで議論されました。

その中の一つで大変興味深かったものが、東京都美術館で開催された分科会での議題「ミュージアム・コミュニケーション『多様な関わりを創る』市民との協働」です。

美術館・博物館と一般の人々がクリエイティブにつながるにはどうしたらよいかという問題と、「未来の美術館・博物館」を実現するための活動について、事例をもとに議論がなされました。

楽器博物館のボランティア組織では、現在十数名が活動しています。現状は「サポーター」という面が強いのですが、博物館職員や学芸員とは違う多様な経験や能力を生かした「プレーヤー」として活動の場を模索することも必要であり、それが館の発展や新たな価値の創出につながるのではないかと思います。

第66回全国博物館大会
日 程：平成30年11月28日(水)～11月30日(金)
会 場：東京文化会館ほか



ミュージアムサロンコンサート 中央アジアの音楽と楽器

日本各地で行われていたテュルクソイ結成25周年の記念イベントの一環として、楽器博物館では11月18日(日)に加盟国の演奏家ら約40名をお招きし、ミュージアムサロンコンサートを開催しました。「テュルクソイ」とはアゼルバイジャンほかテュルク語系の国々約12カ国の国際文化機構です。

コンサートはアゼルバイジャンの伝統音楽ムガムにトルコの楽器などを加えた演奏から始まり、サハ共和国の口琴ホムス、バシコルトスタン共和国の伝統的な笛クライ、ウズベキスタンの太鼓ドイラの独奏や、キルギスの弦楽器コムズの四重奏などが披露されました。また各国の歌やダンスもあり、盛りだくさんな一時間となりました。舞台上で次々と入れ替わる多彩なテュルク芸術に、お客様も目を輝かせていました。



「中央アジアの音楽と楽器～テュルク世界のたいなる遺産～」
日 時：平成30年11月18日(日) 14:00
会 場：楽器博物館天空ホール
出 演：中央アジア各国からの音楽家(約40人)
入場者：130人

音楽の広場コンサート 児童合唱団クリスマスコンサート

12月9日(日)は、浜松ライオネット児童合唱団の皆さんにクリスマスコンサートをしていただきました。

クリスマスソングでは、明るく楽しい曲に合わせて笑顔で歌う子どもたちのステージを、お客様もにこやかな表情で聴いていただきました。コンサートの中盤では、ジャズスタイルにアレンジされたクリスマスソングを当館職員数名が演奏しました。後半は、12月24日に作曲200周年を迎えた「きよこの夜」など、いくつかのクリスマスの讃美歌を披露。児童合唱団の澄んだ声と職員2名によるトロンボーン伴奏で、西洋の教会で行われるクリスマス・ミサのような厳かな雰囲気が味わえました。



「浜松ライオネット児童合唱団クリスマスコンサート」
日 時：平成30年12月9日(日) 14:00、15:00
会 場：楽器博物館天空ホール
出 演：浜松ライオネット児童合唱団、初村則子(指揮)、稲垣英子(ピアノ)、増田博行(トロンボーン/当館職員)、岩崎美帆(トロンボーン/同)、野口夏菜(ピアノ/同)、小田桃子(パーカッション/同) 入場者：95人

音楽の広場コンサート 女声合唱



12月2日(日)に、アンサンブル・ムジーク女声合唱団の皆さんによるコンサートを開催しました。コンサートでは、宗教曲の「Maria Mater Gratiae」(G. フォーレ作曲)、日本の唱歌、アメリカ民謡メドレーなど、幅広い合唱曲を披露していただきました。文部省唱歌からは「村の鍛冶屋」「ペチカ」が歌われましたが、現代的アレンジの合唱で、懐かしいメロディーの中にも新鮮な響きを感じられました。

アンコールでは「アメージング・グレイス」を歌っていただき、お客様は女声合唱ならではの澄んだハーモニーに聞き入っていました。

「女声合唱」
日 時：平成30年12月2日(日) 13:30、15:00
会 場：楽器博物館天空ホール
出 演：アンサンブル・ムジーク女声合唱団、稲垣英子(ピアノ)
指 揮：仁科岡彦
入場者：132人

ミュージアムサロンコンサート クリスマスコンサート



12月23日(日)は静岡県内外で活躍する音楽家をお迎えし、クリスマスコンサートを開催しました。フルートの小池真梨さんとファゴットの中山優希さんには各々の楽器の解説とソロの演奏もしていただきました。お客様が終演後に展示品を見る楽しみも増えたのではないのでしょうか。他にも、加藤雄樹さんのパーカッション演奏に中村節さんと当館職員の野口夏菜によるピアノ連弾を組み合わせたりと、様々な編成での演奏がありました。また、曲目もクリスマスを感じられる曲から、タンゴやボサノヴァ、シューマン作曲の「献呈」などバラエティに富んでおり、わくわくする30分間となりました。

最後には、中村節さんが編曲した讃美歌やクリスマス曲のメドレーを5人で演奏してコンサートを締めくくりました。
「クリスマスコンサート」
日 時：平成30年12月23日(日) 14:00、15:30
会 場：楽器博物館天空ホール
出 演：小池真梨(フルート)、中山優希(ファゴット)、加藤雄樹(パーカッション)、中村節(作曲、ピアノ)、野口夏菜(ピアノ、鍵盤ハーモニカ/当館職員) 入場者：197人